

科目名	美齢学演習	Subject	Gerontology Practice					
サブタイトル	美しく生きるための美容福祉・美齢学							
科目基本情報			ディプロマポリシー「主な学習効果」					
開講年次	開講時期	必修／選択	DP 1 知識・技能	DP 2 主体的行動力	DP 3 課題解決能力	DP 4 多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	DP 5 日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	DP 6 美しく生きる力を実践できる能力
1 年	前期	選択						
授業形態	単位	時間						
演習	1 単位	30 時間	○		○	◎		○
ゲストスピーカー招聘回		第 8 回						
教員名	大西 典子			メールアドレス	nonishi@skycampus.jp			
教員の略歴	右記 URL より一覧を確認してください。【 https://www.yamano.ac.jp/study/teacher/ 】							
実践的教育	○ 医学領域で得た知識と経験を基に、具体的にわかりやすく展開する。							
オフィスアワー	別途一覧をご確認ください。							

科目の概要								
本科目では、山野独自の美容福祉と美齢学を学びます。美容福祉とは、人生 100 年時代の高齢者や障がい者が社会参加するための身支度としての美容の提供を行うことであり、対象となる人の障がいや特性を理解することで、適切な美容ケアに結び付けるための知識やスキルを学ぶものです。また、美齢学ではそれをさらに拡大し、フレイル対策や、年齢に限らず発症するがんなどの治療による脱毛など今地域社会の課題となっている様々な美容上の課題に対して専門しよくして事業展開するするための知識やスキルを学びます。								
授業方法								
対面	オンライン	ハイブリッド	ディスカッション	プレゼンテーション	作品制作			
○	-	-	○	○	-			
授業の目標と関連するディプロマポリシー（DP）								
ディプロマポリシー	授業の目標							
DP4	年齢や障害の有無などにかかわらず自分とは異なる価値観や考え方を持つ人々について、例を挙げて説明できる。							
DP1	多様な人の美容上の困りごとに、基本的な対応が述べられる。							
DP3	社会状況や、様々な情報から課題となる対象の背景について述べられる。							
DP6	人生 100 年時代を生きる自分や他者が、豊かな人生を送るために美容で何ができるか述べられる。							
教科書・教材								
教科書	美しく生きるための美容福祉 - ジェロントロジーと美齢学 -							
参考文献	大西典子「『生きるほどに美しく』あることが体現できる社会づくり」 山野研究紀要 第 28 号 2020 ・ 第 29 号 2021							
各自準備教材	なし							
評価方法								
筆記試験	実技試験	受講態度	小テスト	レポート	プレゼンテーション	作品	課題	その他
-	-	-	-	50%	20%	-	30%	-
なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。								
課題（試験やレポート）のフィードバックの方法								
毎時間の課題に対して、ディスカッション課題については次回の課題として取り上げます。レポート課題に対しては事前に説明します。								
履修上の条件・注意								
他者の意見は否定しない。自分の意見も多様な意見の一つとして積極的に発言すること。 ※何らかの社会的な状況変化等の諸般のやむを得ない事情により、授業方法、授業計画、評価方法等を変更する場合がある。								
本科目履修と関連する資格								
要件を満たせば美容福祉師資格認定を行う								

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間 (分)
第 1 回	オリエンテーション 人生 100 年時代におけるジェロントロジ ー・美齢学・美容福祉とは何かを学ぶ	美齢学と美容福祉とは何かが述べられる	授業の内容については予習と復習が要求される。 ・予習は classroom の資料を 30 分読み、内容を確認しておくこと。 ・復習は、毎回の課題に対して 30 分復習し、次回再度確認するため、理解しておくこと。	60 分
第 2 回	外見の生理的変化に対する美容	加齢による外見の変化が述べられる	・予習：classroom の資料を 30 分読み、内容を確認しておくこと。 ・復習：課題に対して 30 分復習し、次回再度確認するため、理解しておくこと。	60 分
第 3 回	心理的・社会的変化と環境要因による外見への影響	加齢による心理・社会的変化が述べられる	・予習：classroom の資料を 30 分読み、内容を確認しておくこと。 ・復習：課題に対して 30 分復習し、次回再度確認するため、理解しておくこと。	60 分
第 4 回	ケアとしての美容の種類	ケアとしての美容効果と注意すべきことが述べられる	・予習：classroom の資料を 30 分読み、内容を確認しておくこと。 ・復習：課題に対して 30 分復習し、次回再度確認するため、理解しておくこと。	60 分
第 5 回	フレイルと美容	フレイル予防が述べられる	・予習：classroom の資料を 30 分読み、内容を確認しておくこと。 ・復習：課題に対して 30 分復習し、次回再度確認するため、理解しておくこと。	60 分
第 6 回	がんサバイバーと美容	アピランスケアについて述べられる	・予習：classroom の資料を 30 分読み、内容を確認しておくこと。 ・復習：課題に対して 30 分復習し、次回再度確認するため、理解しておくこと。	60 分
第 7 回	認知症の人と美容	認知症の人の接客上の注意が述べられる	・予習：classroom の資料を 30 分読み、内容を確認しておくこと。 ・復習：課題に対して 30 分復習し、次回再度確認するため、理解しておくこと。	60 分
第 8 回	高齢者のスキンケア・ハンドケア (峯協真弓)	ハンドケアの意義と注意点が述べられる	・予習：classroom の資料を 30 分読み、内容を確認しておくこと。 ・復習：課題に対して 30 分復習し、次回再度確認するため、理解しておくこと。	60 分
第 9 回	高齢者のフットケア	フットケアの意義と注意点が述べられる	・予習：classroom の資料を 30 分読み、内容を確認しておくこと。 ・復習：課題に対して 30 分復習し、次回再度確認するため、理解しておくこと。	60 分
第 10 回	ユニバーサルファッション（大野淑子）	ユニバーサルファッションについて述べられる	・予習：classroom の資料を 30 分読み、内容を確認しておくこと。 ・復習：課題に対して 30 分復習し、次回再度確認するため、理解しておくこと。	60 分
第 11 回	訪問美容について（及川麻衣子）	訪問美容の意義と効果と課題が述べられる	・予習：classroom の資料を 30 分読み、内容を確認しておくこと。 ・復習：課題に対して 30 分復習し、次回再度確認するため、理解しておくこと。	60 分
第 12 回	対象設定と美容のケアについてグループワーク	対象設定とケア内容について意見を述べたり話し合いに参加できる	・予習：classroom の資料を 30 分読み、内容を確認しておくこと。 ・復習：課題に対して 30 分復習し、次回再度確認するため、理解しておくこと。	60 分
第 13 回	グループ発表と評価	グループ発表で自分の役割が遂行できる	・予習：classroom の資料を 30 分読み、内容を確認しておくこと。 ・復習：課題に対して 30 分復習し、次回再度確認するため、理解しておくこと。	60 分
第 14 回	グループ発表と評価	グループ発表で自分の役割が遂行できる	・予習：classroom の資料を 30 分読み、内容を確認しておくこと。 ・復習：課題に対して 30 分復習し、次回再度確認するため、理解しておくこと。	60 分
第 15 回	まとめレポートの提出	レポートに自分の意見がまとめられる	・予習：レポート課題について個人で調べグループワークの内容を踏まえ整理しておく	60 分